

コレクションによる特別展示

#StayMuseum

ステイミュージアム

2020

7 / 2 (Thu.)

|

9 / 6 (Sun.)

本展について

2020 年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が発生し、世の中のあらゆる事が揺れ動きました。そして、今なお予断を許さない状況にあります。私たちを取り巻く社会環境は大きく変化し、「新しい生活様式」の実践が求められています。

当館も新型コロナウイルスの影響を受け、2 月末より断続的に臨時休館してまいりました。また、今年度予定していた企画展のうち 2 本は、感染拡大防止のため、また開催準備が困難なことから中止としました。しかし、このような状況であるからこそ、人々の心を豊かにするために優れた芸術作品に触れる機会を提供する美術館としての役割を果たしたいという思いを新たにし、このたび当館のコレクションを活用した展示を企画しました。本展を通して作品と向き合う体験が、私たちを取り巻く世界のありようや人々の生活を見つめ直し、これからの未来を切り拓いていくための一助となればと願っています。

展示構成

第 1 部：今日の 1 点

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館中、当館では公式ツイッターを利用してコレクション（所蔵作品）の紹介を行ってきました。各週のテーマを定め、そのテーマに沿った作品をコレクションの中から選び、当館に在職する 7 名の学芸員が各自の専門分野を生かしてつぶやく、大喜利風の企画です。短い字数で伝えたい思いを明確に言葉にしなくてはならず、難しい面も多々ありますが、コレクションに対する各学芸員の愛着がよりストレートにあらわれる結果となり、フォロワーの皆様からも好評をいただきました。

ツイッターから始まった企画を今回、展示室で実際の作品を展示し再構成を試みます。スマートフォンやパソコンの画面上とは異なる、作品同士の競演をお楽しみください。

（展示予定：絵画 [日本画・油彩画]、版画、彫刻 約 20 点

*ツイッターで取り上げた作品中、一部を展示します。）

- ✓ **学芸員がつぶやいたコメントを作品とともに掲示します。通常の作品解説とはひと味違った、学芸員の推しコメントにもご注目ください。**
- ✓ **「第 1 部：今日の 1 点」の展示作品は写真撮影が可能です。**
- ✓ **来館者の皆様も展示作品について「#StayMuseum」をつけてつぶやいてください。 Follow us on twitter @mie_kenbi**

第2部：非常時の美術

今から約100年前、世界的に大流行したスペイン風邪（A型インフルエンザ）によりわずか20歳でこの世を去った青年画家がいました。その名は、関根正二（せきねしょうじ）。

私たち人類の歴史はどこかで同じことを繰り返しているように見えます。100年前に関根が命を落とす原因となったスペイン風邪と、今回の新型コロナウイルスの猛威とを簡単に重ね合わせることはできませんが、歴史上の出来事が急に現実のこととして身近に感じられたという方も少なくないでしょう。

第2、3室では、関根正二の作品を起点として、約100年の間に私たちが接してきた「非常時」に焦点をおいてコレクションをご紹介します。疫病、震災、戦争、災害、闘争といったテーマを今、私たちが直面している状況下において見つめ直すとき、何事もなく日常を迎えたいという美術家たちの思いが、作品を通してこれまで以上に深く迫ってくるように思われます。コレクションを通して「非常時の美術」に触れる経験が、日々の生活、政治、経済、自然環境、人権など多方面から、これからの新型コロナウイルス以後の世界を思考することにつながればと願います。

（展示予定：絵画 [日本画・油彩画]、版画、彫刻、書籍等資料 約70点）

トピック（主な作家、【資料】）

1918 スペイン風邪（関根正二、村山槐多）／

1923 関東大震災（萬鉄五郎、奥瀬英三、牧野虎雄）／

1930年代 モダン都市の光と闇（木村荘八、中村岳陵、速水御舟）／

1930年代 国土へのまなざし（藤島武二、梅原龍三郎、鳥海青児）／

1940年代－1950年代 戦争の痕跡（原精一、恩地孝四郎、松本竣介、浜田知明、向井良吉、【統制陶器】）／

1950年代－1970年代 大嵐の時代（池田龍雄、尾藤豊、中谷泰、【ビキニ環礁水爆実験と第五福竜丸被ばく、伊勢湾台風、四日市公害】）／

現代 繰り返す天災（イケムラレイコ、岩名泰岳）

- ✓ 過去100年間のさまざまな「非常時」をテーマに、美術家たちの思いのつまった作品資料約70点をご紹介します。
- ✓ スペイン風邪や戦争などグローバルなテーマから、伊勢湾台風、公害など三重県ならではのローカルなトピックまで、幅広く取り上げることを目指します。
- ✓ 三重県在住の画家、岩名泰岳（1987～）の近作・新作（作家蔵）を特別展示します。現在の「非常時」に対する若手作家のリアクション（反応）にもご注目ください。

第3部：コレクションによる宇田荻郵展

(2020年6月30日 [火]—9月22日 [火・祝])

4月18日から5月31日にかけて開催を予定していた「没後40年 宇田荻郵展」は、新型コロナウイルスの影響により開幕を断念し中止いたしました。展覧会を楽しみにお待ちいただいていた皆様に一部だけでもご覧いただけるように、当館所蔵の宇田荻郵（うだてきそん）の作品等をご紹介します。

*会期中は上記展示のほか、「美術館のコレクションⅡ」（常設展示室第1室、第3室）を開催します。また、柳原義達記念館 A 室「特集展示 秋岡美帆一風の景一」および柳原義達記念館 B 室「柳原義達の芸術Ⅰ」（8月30日まで）、柳原義達記念館 A+B 室「柳原義達の芸術Ⅱ」（9月2日から）も同時開催いたします。

- ✓ 最初期から戦後の作品まで、代表作をわかりやすい解説とともにご紹介いたします。
- ✓ 最初期作品の《萩と木蓮》（個人蔵、当館寄託）を37年ぶりに当館で公開します。
- ✓ 《松樹》、《飛香舎（藤壺）》（松阪市蔵、当館寄託）も公開します。

展覧会概要

コレクションによる特別展

#StayMuseum ステイミュージアム

開催期間：2020年7月2日 [木]—9月6日 [日]

会場：三重県立美術館 企画展示室第1室—第3室、常設展示室第2室

主催：三重県立美術館

観覧料：一般 500 (400) 円／学生 400 (300) 円／高校生以下無料

() 内は20名以上の団体割引料金

*上記の料金で、「美術館のコレクション」、「特集展示 秋岡美帆一風の景一」、「柳原義達の芸術」もご覧いただけます。なお、柳原義達記念館は展示替えのため、9月1日（火）は閉室いたします。

*学生の方は生徒手帳・学生証等をご提示ください。

*障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧料無料。

お問合せ先

三重県立美術館

〒514-0007 三重県津市大谷町11 TEL 059-227-2100 FAX 059-223-0570

担当＝学芸普及課 学芸員 原 舞子（はら まいこ） haram02@pref.mie.lg.jp

広報用画像



1. 清水登之《ロシアダンス》
1926年 三重県立美術館蔵
[第1部に展示]



2. 藤島武二《大王岬に打ち寄せる怒濤》
1932年 三重県立美術館蔵
[第2部に展示]



3. 恩地孝四郎《アレゴリー No.2 廃墟》
1948年 三重県立美術館蔵
[第2部に展示]



4. 石井茂雄《暴力シリーズー戒厳状態II》
1956年 三重県立美術館蔵
[第2部に展示]



5. 岩名泰岳《夕暮れの山》
2011年 作家蔵
[第2部に展示]

広報用画像申請用紙

ファクシミリをご利用の方は、ご希望の画像に✓を入れ、申請者情報を記入し上の宛先にお送りください。申請者情報と画像番号を E メールでお送りいただいても構いません。受付後、JPEG または TIFF の画像データとキャプションのテキストデータを E メールでお送りします。

ご所属／

担当者氏名／

掲載媒体名称／

電話番号／

メールアドレス／

1.

清水登之《ロシアダンス》 1926年 三重県立美術館蔵

2.

藤島武二《大王岬に打ち寄せる怒濤》 1932年 三重県立美術館蔵

3.

恩地孝四郎《アレゴリー No.2 廃墟》 1948年 三重県立美術館蔵

4.

石井茂雄《暴力シリーズ—戒厳状態Ⅱ》 1956年 三重県立美術館蔵

5.

岩名泰岳《夕暮れの山》 2011年 作家蔵

6.

宇田荻邨《飛香舎（藤壺）》 1965年 松阪市蔵

■掲載にあたってのお願い

- ・上記キャプション（作家名、作品名、所蔵先等）を画像と一緒に掲載してください。
- ・作品画像への文字乗せ、画像トリミングはご遠慮ください。
- ・掲載物を2部、または紙面データを美術館にお送りください。
- ・ウェブサイト上に掲載する場合はコピーガードをかけ、転載禁止の旨を明記してください。
- ・画像データの広報目的以外の使用はできません。

■お問合せ先

三重県立美術館 学芸普及課 原舞子

TEL. 059-227-2100（代表）／ FAX. 059-223-0570 E-mail: haram02@pref.mie.lg.jp